

平成29年度病害虫発生予察注意報第1号

平成29年6月2日
愛知 県

作物名：ナシ
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 やや多い
- 3 注意報発表の根拠

5月下旬の巡回調査（32ほ場）において、16ほ場で本病の発生を確認した。発生状況は、発生ほ場率50.0%（平年25.6%、前年43.8%）、発病葉率 0.9%（平年0.8%、前年1.6%）、発病果率2.1%（平年1.0%、前年0.8%）で、発病ほ場率は過去10年と比較して最も高く、発病果率は2番目に高い。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実は伝染源になるので、見つけ次第取り除き、ほ場外へ持ち出して適切に処分する。
- (2) 本病は曇雨天が続くと蔓延するので、雨が予想される場合は下表を参考に計画的に薬剤散布する。FRACコードが同じ薬剤を連続して使用することは避ける。
- (3) スピードスプレーヤーで防除する場合は、ほ場のすみなどの薬剤がかかりにくい場所は手で散布するなどして、かけ残しがないよう注意する。また、散布圧力を高くしすぎないように注意する。

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード	系統
デランフロアブル	収穫60日前まで	4回以内	M9	キノン
ベルコートフロアブル	収穫14日前まで	5回以内	M7	グアニジン
スコア顆粒水和剤	収穫14日前まで	3回以内	3	EBI
アンビルフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	3	EBI
スクレアフロアブル	収穫前日まで	3回以内	11	ストロビルリン
ファンタジスタ顆粒水和剤	収穫前日まで	3回以内	11	オキシムエーテル
フルーツセイバー	収穫前日まで	3回以内	7	チオフェン系

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、<http://www.jfrac.com/fracコード表/> を参照。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471